



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,927	△19.6	639	△38.2	586	△41.5	455	△52.5
28年3月期第3四半期	7,372	22.7	1,034	183.8	1,002	142.2	959	132.2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 357百万円 (△63.0%) 28年3月期第3四半期 966百万円 (130.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	74.00	—
28年3月期第3四半期	155.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	10,918	6,971	63.8	1,131.91
28年3月期	11,859	6,859	57.8	1,113.83

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 6,971百万円 28年3月期 6,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	△9.9	790	△34.3	760	△33.6	560	△52.6	90.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	6,499,000 株	28年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	340,287 株	28年3月期	340,287 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	6,158,713 株	28年3月期3Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)における世界経済は、米国経済が引き続き回復基調で推移し、英国のEU離脱問題により懸念された世界経済への影響が限定的だったことや、中国が生産設備の高度化・自動化の推進により底堅く推移するなど、景気は総じて緩やかに拡大しました。一方で、中東の情勢不安に起因する地政学的リスクや、米国新大統領の政策に対する不確実性が増大するなど、先行きは不透明な状況にあります。国内経済については、為替が上期を通じて円高進行となったものの第3四半期において円安に転換、企業収益や雇用・所得環境に改善傾向が見られるなど緩やかな回復傾向となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連の電子部品需要が引き続き堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしました。デバイスメーカ各社の増産設備投資に対する姿勢も回復傾向となりました。また、各社の次世代製品に向けた開発意欲は継続され、当社グループに対するサンプル成膜の依頼等は引き続き活発に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは、好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。ユーザーからの意見等をふまえた機種ごとのメンテナンス性の改善や社内検査の強化による品質向上やコストダウン推進にも継続して取り組みました。また、次世代製品に向けたデバイスメーカからの依頼実験や製品開発にも積極的に対応することで事業の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は受注高70億50百万円(前年同四半期比9.4%減)、売上高59億27百万円(同19.6%減)となりました。

損益につきましては、経常利益5億86百万円(前年同四半期比41.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億55百万円(同52.5%減)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、第3四半期の売上転化案件が少なく売上高は足踏み状態となりました。受注に関しては水晶装置が好調を維持し、光学装置もまとまった受注獲得があるなど堅調に推移するなど、デバイスメーカ各社の増産設備投資が回復傾向となりました。

受注高は57億91百万円(前年同四半期比8.2%減)、売上高は46億69百万円(同20.9%減)、セグメント利益は10億16百万円(同24.2%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、TCXO(温度補償水晶発信器)の需要増等により、主に周波数調整工程向けの最新装置を中心に受注が好調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は21億56百万円(前年同四半期比191.3%増)、売上高は15億73百万円(同61.8%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンのデュアルカメラレンズの進展への対応などを背景に反射防止膜成膜用装置の受注が堅調に推移しました。また新製品の受注活動を積極的に推進し、第3四半期に受注実績となりました。新製品に対する問合せやサンプル成膜の申入れは引き続き活発に推移しました。

光学装置の受注高は19億52百万円(前年同四半期比29.0%増)、売上高は10億42百万円(同11.8%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野及び新規市場の開拓に注力しましたが、前期好調に推移したスマートフォン向け圧電部品の製造用装置の反動減により、受注、売上とも前年同期に対して減少となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は16億82百万円（前年同四半期比58.5%減）、売上高は20億53百万円（同45.2%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する当社装置の稼働状況の定期的な確認を励行するとともに、生産終了に伴うサポート終了品及び更新機種のご案内を積極的に行い、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は12億58百万円（前年同四半期比14.4%減）、セグメント利益は2億85百万円（同23.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は78億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6百万円減少しました。これは主に仕掛品が2億8百万円増加したものの、現金及び預金が7億95百万円、受取手形及び売掛金が1億87百万円減少したことによるものです。固定資産は30億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少しました。これは主に有形固定資産が減価償却等により1億27百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は109億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億41百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は28億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億49百万円減少しました。これは主に1年内償還予定の社債が8億円、1年内返済予定の長期借入金が2億円、賞与引当金が1億67百万円、支払手形及び買掛金が1億64百万円減少したことによるものです。固定負債は10億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加しました。これは主に社債が4億50百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は39億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億52百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は69億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定が99百万円減少したものの、利益剰余金が2億9百万円増加したことによるものです。

純資産の増加以上に負債が減少した結果、自己資本比率は63.8%（前連結会計年度末は57.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、今後の景気動向等不透明ではありますが、当第3四半期連結累計期間の業績進捗等を踏まえ見通しを勘案した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

主な理由につきましては、装置受入整備状況といった客先都合や開発要素の高い案件の進捗遅延等により、売上計上が翌期となる案件が発生したため、当期の売上高が減少し、それに伴い利益も減少する見込みとなりました。

この結果、売上高は前回予想比9億円減の91億円、営業利益は同1億60百万円減の7億90百万円、経常利益は同1億40百万円減の7億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同1億40百万円減の5億60百万円となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,117,294	3,321,508
受取手形及び売掛金	2,358,353	2,170,736
商品及び製品	4,295	3,933
仕掛品	1,752,923	1,961,588
原材料及び貯蔵品	139,269	167,597
繰延税金資産	227,608	136,013
その他	72,925	87,345
貸倒引当金	△46,043	△28,725
流動資産合計	8,626,626	7,819,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	674,867	619,053
機械装置及び運搬具(純額)	136,603	97,451
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	106,311	73,514
有形固定資産合計	2,984,032	2,856,268
無形固定資産		
リース資産	16,916	12,762
ソフトウェア仮勘定	45,618	48,058
その他	28,520	26,997
無形固定資産合計	91,055	87,818
投資その他の資産		
投資有価証券	146,897	144,694
その他	11,501	10,045
貸倒引当金	△211	△211
投資その他の資産合計	158,186	154,528
固定資産合計	3,233,274	3,098,615
資産合計	11,859,901	10,918,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,058,523	1,894,052
短期借入金	197,572	197,572
1年内償還予定の社債	800,000	-
1年内返済予定の長期借入金	200,000	-
リース債務	19,138	19,138
未払費用	186,100	177,214
未払法人税等	150,303	5,390
賞与引当金	249,569	82,510
役員賞与引当金	86,000	45,000
製品保証引当金	102,000	49,000
工事損失引当金	29,830	51,300
その他	350,681	359,337
流動負債合計	4,429,721	2,880,517
固定負債		
社債	-	450,000
長期借入金	-	50,000
リース債務	43,465	29,111
繰延税金負債	35,493	34,028
退職給付に係る負債	411,583	423,972
長期未払金	75,607	75,612
その他	4,250	4,250
固定負債合計	570,400	1,066,974
負債合計	5,000,121	3,947,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	1,999,918	2,209,328
自己株式	△278,137	△278,137
株主資本合計	6,652,861	6,862,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,084	71,553
為替換算調整勘定	124,273	24,995
退職給付に係る調整累計額	9,560	12,302
その他の包括利益累計額合計	206,918	108,850
純資産合計	6,859,779	6,971,121
負債純資産合計	11,859,901	10,918,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,372,848	5,927,842
売上原価	5,152,930	4,122,111
売上総利益	2,219,917	1,805,731
販売費及び一般管理費	1,185,148	1,166,490
営業利益	1,034,769	639,240
営業外収益		
受取利息	876	1,230
受取配当金	591	1,097
受取賃貸料	8,800	8,784
保険配当金	16,380	16,059
物品売却益	-	3,655
その他	3,819	7,753
営業外収益合計	30,468	38,581
営業外費用		
支払利息	8,624	7,046
売上割引	15,811	8,553
為替差損	17,939	58,116
賃貸物件関係費	10,664	1,622
社債発行費	-	11,974
その他	9,826	4,318
営業外費用合計	62,866	91,633
経常利益	1,002,370	586,188
特別利益		
固定資産売却益	30	-
特別利益合計	30	-
特別損失		
固定資産除却損	178	415
特別損失合計	178	415
税金等調整前四半期純利益	1,002,222	585,772
法人税、住民税及び事業税	100,960	39,213
法人税等調整額	△57,757	90,801
法人税等合計	43,202	130,015
四半期純利益	959,020	455,757
親会社株主に帰属する四半期純利益	959,020	455,757

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	959,020	455,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,575	△1,531
為替換算調整勘定	△18,139	△99,277
退職給付に係る調整額	△3,939	2,741
その他の包括利益合計	7,496	△98,067
四半期包括利益	966,517	357,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966,517	357,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,902,152	1,470,695	7,372,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,730	22,546	31,277
計	5,910,883	1,493,242	7,404,125
セグメント利益	1,341,532	372,108	1,713,641

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,713,641
セグメント間取引消去	7,121
全社費用(注)	△685,993
四半期連結損益計算書の営業利益	1,034,769

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,669,634	1,258,207	5,927,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,770	5,190	7,960
計	4,672,405	1,263,397	5,935,802
セグメント利益	1,016,635	285,340	1,301,975

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,301,975
セグメント間取引消去	19,296
全社費用(注)	△682,030
四半期連結損益計算書の営業利益	639,240

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,573,563	161.8
光学装置	1,042,617	88.2
電子部品装置	2,053,454	54.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,669,634	79.1
サービス事業		
部品販売	709,715	93.9
修理・その他	548,569	77.1
サービス事業計	1,258,285	85.8
合計	5,927,920	80.4

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	2,156,221	291.3	1,394,956	265.4
光学装置	1,952,692	129.0	1,696,603	127.1
電子部品装置	1,682,974	42.8	1,346,400	73.0
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,791,887	91.8	4,437,959	116.0
サービス事業				
部品販売	709,638	93.5	—	—
修理・その他	548,569	77.1	—	—
サービス事業計	1,258,207	85.6	—	—
合計	7,050,095	90.6	4,437,959	116.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,573,563	161.8
光学装置	1,042,617	88.2
電子部品装置	2,053,454	54.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,669,634	79.1
サービス事業		
部品販売	709,638	93.5
修理・その他	548,569	77.1
サービス事業計	1,258,207	85.6
合計	5,927,842	80.4

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。